第３２回都市公園等コンクール　国土交通大臣賞受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：富山城址公園　日本庭園・茶庭
対象施設：城址公園
所 在 地：富山県富山市
受賞団体：株式会社都市計画研究所

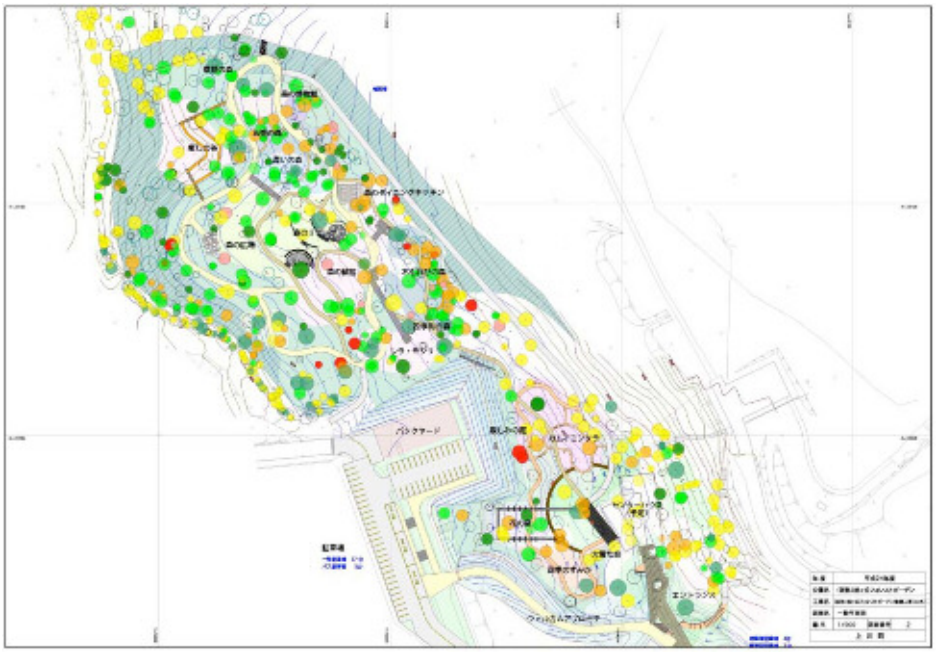
江戸期の富山城における庭園文化の歴史に根ざし、富山の歴史文化を一度に触れることのできる「富山らしさ と もてなし」をテーマに作庭した約 5,000 ㎡の池泉回遊式の庭園と茶庭の設計である。平成 16 年の富山城址公園再整備計画に伴い、観光機能・象徴機能・まちづくり機能の強化を図ることから、富山の歴史・文化を象徴した「富山の顔」となる庭園として設計されたこと、「城」と「立山」への景のふたつの歴史・文化の景観を骨格とした４つの庭園景により富山の魅力と個性を醸し出すと共に、庭内の修景木には、薬木・薬草を用い「富山のくすり・薬都富山」としての富山らしさを演出したこと、また、茶庭（露地）が茶室建設に関わる検討委員会や富山県茶道連盟との細やかな対話と協議により、使いやすい露地空間に仕上げられたことなどが高く評価された。

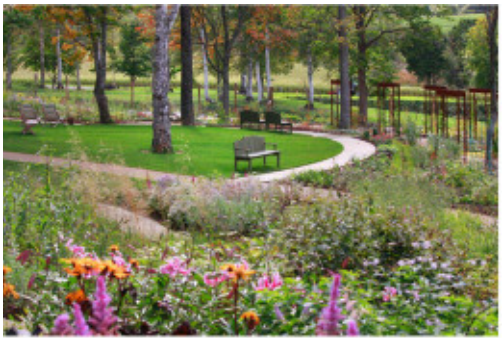
第３２回都市公園等コンクール　国土交通大臣賞受賞作品の概要

設計部門

受賞作品：大雪　森のガーデン
対象施設：大雪　森のガーデン
所 在 地：北海道上川郡上川町
受賞団体：高野ランドスケーププランニング株式会社
　　上川町

「観光に寄与すると共に、町民の暮らしを豊かにして行く場」「本格的な大雪の森への優しい入り口」「上川町のブランド発信拠点」として、町民が誇りを持って来賓（観光客）を迎え入れる「森の迎賓館」をコンセプトとした大雪山を広く望む森の中にある「大雪　森のガーデン」の設計である。各エリアを特徴あるコンセプトで構築し、様々な美しい草花や景観を観て楽しむだけでなく、過ごして楽しむ事を目指して、様々な小規模イベントやプログラムが展開できるようなしつらえに徹底的に配慮した設計であること、町民にとって「うちの庭」となり、まちづくり、観光振興へ活かされ、公共緑地を通じた地方創成のプロジェクトなっていることが高く評価された。





第３２回都市公園等コンクール　国土交通大臣賞受賞作品の概要

管理運営部門

受賞作品：長短二つのマネジメントプランで世界屈指の都市公園へ
対象施設：国営常陸海浜公園
所 在 地：茨城県ひたちなか市
受賞団体：一般財団法人公園財団
　　ジェイアール東日本コンサルタンツ株式会社

国営常陸海浜公園における「絶景」と評価される花修景による地域振興や地方創生に向けた取り組みである。

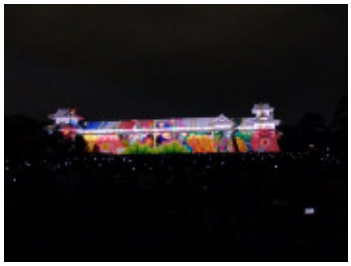
開園から大規模花修景に取り組み、「花の公園」としての認知度向上を図っている。平成11年の「フローラルアップ作戦」の展開により、造成中の「みはらしの丘」にネモフィラとコキアを植栽し、今までにない花修景に取り組んだ。その結果として、「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」として紹介されたことをはじめ、CNNの「日本の絶景31選」に選ばれるなど、SNSやマスメディアを通じて国内外で大きく紹介され、地域のインバウンド促進に繋がるほか、茨城県のイメージアップに大きく貢献していることなどが高く評価された。

第３２回都市公園等コンクール　国土交通大臣賞受賞作品の概要

特定テーマ部門　（歴史的・文化的資源と一体となった都市公園等の設計、施工、管理運営）

受賞作品：金沢城公園
対象施設：金沢城公園
所 在 地：石川県金沢市
受賞団体：石川県

「史実に沿った本物志向」を基本姿勢に、都心の緑を保全し、史実を尊重した金沢城公園の復元整備の設計・施工・管理運営である。

金沢城公園は、平成8年に金沢大学の郊外移転に伴う跡地利用により整備された公園である。県都金沢の中心部にありながら緑豊かな自然を残し、また、加賀藩金沢城の遺構を数多く包蔵した、歴史的にも文化的にも貴重な都市公園であり、県民共有の財産である。

復元整備は専門家の意見を踏まえ、江戸時代後期の城郭の地割りを基に実施し、その後、順次、建物や庭園等について史実を尊重した整備を行ったこと、平成20年の国史跡指定を受け平成23年4月に「史跡金沢城跡保存管理計画」を策定し、史跡としても適切な保存・管理を実施していることなどが高く評価された。